

漢字・語句の確認

筆者の主張を読み取る

「わらしべ長者」の経済学

梶井厚志

教科書

p.182
p.191

1 知 傍線部の漢字は読みを答え、カタカナは漢字になおしなさい。

(1) 観音さま

(2) 祈願する

(3) 半端の反物

(4) 幸いにも

(5) 屋敷に住む

(6) 話に面白みをつける

(7) 利益が生まれる

(8) 眠る経済学的価値

(9) 役割を担う

(10) 特段の工夫もない

(11) 嫌悪感がともなう

(12) 畑を耕す

(13) 富をサズかる

(14) おツげがあった

(15) 馬をカイホウする
※けが人や病人の世話をすること

(16) 簡単メイリヨウである

(17) ミリヨク的なもの

(18) 可能性をコウリヨする

(19) 畑でトれたミカン

(20) 大切な役割をシめる

(21) カッコウの材料

(22) トッシュユした幸運

(23) 生き方をヒナンする

(24) 経済学のリクツ

2 知 次の語句の意味を調べなさい。

(1) 媒介（二六・一三）

(2) 富貴（二八・五）

(3) 普遍（性）（二九・一三）

3 知 次の語句を用いて短文を作りなさい。

(1) リスク（二七・八）

(2) あくどい（二八・一三）

内容を確認する

1 思 「この点（二・三・四）」とはどのような点か。最も適当なものを選びなさい。

ア 少ない元手で楽をして大もうけする点。

イ 実直な勤労の美德と価値を否定する点。

インターネットで検索すると多く出てくる点。

工馬と引き換えに高価な屋敷を手に入れた点。

2 思 「この原則」(公・一)とはどのような原則か。本文中から十五字で抜き出しなさい。

3 思 「特定の取引に貨幣が媒介するかどうかということ自体は問題ではない」(八五・13)のはなぜか。解答欄に合うように、本文中から適当な表現を抜き出しなさい。

①

であつても②

であつても、取引によつ

③ ④
て
が得られるという原則は同じだから。

筆者の主張を読み取る ● 「わらしべ長者」の経済学

第一段落

4 思 「市場の非完備性」(二・五・一五)とはどういうことか。本文の語句を用いて、三十五字以内で説明しなさい。

5 知 「これらの人たちの間に眠る経済学的価値」(二六・九)とあるが、「眠る」を言い換えたものとして最も適当なものを、次から選びなさい。

ア	自発的にある	イ	客観的にある
ウ	潜在的にある	エ	創造的にある

6 思 「そのような役回り」（二六・12）とはどのようなものか。解答欄に合うように、本文中から適当な表現を抜き出しなさい。

物語に登場する人々の間で①

できる唯一の人物として②

した役回り。

7 思 「引き取る時点では倒れていて、死にそうであったとい
うことが見逃せない」(二六・五)のはなぜか。最も適当なも
のを、次から選びなさい。

ア 馬に慣れた武士が見放したような馬を引き取ることは、リス
クが大きく、無謀な「投資」だと言えるから。

イ 死んでしまうリスクが高い馬でも、懸命に看病すれば息を吹
き返す可能性はあるから。

ウ 死にそうな馬に、大きなリスクを負ってまで「投資」するよ
うな人はほとんどいないから。

エ 馬が死ぬというリスクを含む取引は、将来の利益を
見込んで行う「投資」と同じ経済活動だから。

8 思 『わらしべ長者』にて味わうべき点(二六・六)とは何
か。本文中から五十程度で探し、最初と最後の四字を抜き
出さない。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

9 思 「わらしべ長者」に対する「ある種の嫌悪感」(二六・八)
として適当でないものを、次から選びなさい。

ア 実直な勤労の美德と価値を否定するような物語で不愉快だ。

イ わらしべ男だけが突出して幸運になるのは不公平ではないか。

ウ わらしべ男がほかの人たちをだましているように感じられる。

エ わずか四回の取引しか書かれておらず物語として面

白くない。

10 思 「経済学的な考え方の普遍性」(二六・12)とはどういうこ
とか。解答欄に合うように、十五程度で説明しなさい。

自発的な交換によって得られる価値の創造といった考え方が、

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ということ。

11 思 「経済学の理屈では、この男も利益を得たはず」(二六・
七)とあるが、なぜそのように言えるのか。最も適当なもの
を、次から選びなさい。

ア 交換するたびに損をしていたが、これ以上は損をしようのな
い状態になったから。

イ 自発的に他者と交換を行った結果、交換前より幸福な状態に
なったから。

ウ 自分が幸せになることより、他者が幸せになることに喜びを
感じているから。

エ 歌うことも他人を喜ばせる経済活動であり、大もうけできる
可能性があるから。

論の流れをつかむ

12 思 次の空欄に本文中から適当な言葉を入れなさい。

「アブを結びつけたわらしべ↓ミカン↓反物↓道に倒れた馬↓屋敷」

← 経済学の視点で見ると

・交換による経済学的価値の創造

Ⅱ a [] な取引によって経済学的な b []

が生まれ、取引に参加したすべての人たちは「b」を受け取るこ
とができる

・「市場の非完備性」

Ⅱ 登場する人々がそろって共通に取引できる c []
が備わっていない

① わらしべにアブを結んだⅡ d [] 的なアイディア

② 馬を引き取ったⅡ e [] の大きい事業に投資

③ ミカンと半端の反物を交換したⅡ f [] や小売業
欲している人の元に物を動かす

男は、他人を g [] という正当な経済活動を営んだ

世界各国に「わらしべ長者」に似た昔話がある

経済学的な考え方の h [] を私は感じる

ブータンの昔話の男のような人物こそ、人生で本当に大きな利益を
得られるのではないか

筆者の主張を読み取る ● 「わらしべ長者」の経済学

主題を考える

13 思 筆者の主張として適当でないものを、次から選びなさい。

ア 「わらしべ長者」は主人公の幸運に注目が集まりがちだが、
彼は運だけで富貴を得たのではない。

イ 「わらしべ長者」での取引は、たとえば貨幣を仲立ちとする交
換であっても成立した。

ウ 「わらしべ長者」では、登場人物たちの間に眠る価値に気づ
いた主人公だけがもうけるべくしてもうけた。

エ 世界に「わらしべ長者」に似た話があることで、経済学の考
え方が特殊ではないことがわかる。

考えを表す

1 主 「わらしべ長者」には経済学的な考え方の普遍性がある、
という筆者の考え方に賛成か反対か。一方に○をつけ、その
理由を簡潔に説明してみよう。

賛成 ・ 反対

--	--	--	--	--